

『高松港朝日地区国際ターミナル』 着工記念式典を開催します

高松港湾・空港整備事務所では、高松港朝日地区国際ターミナルの耐震強化岸壁（水深-12m）の地盤改良工事を5月末より現地にて開始しました。これを記念して関係者による記念式典を開催いたします。

事業概要については別添資料をご覧ください。

【日時、場所】

日時：平成20年6月28日（土）
11:00～12:00（開場10:30）

場所：ウェルシティ高松（香川県厚生年金会館）
高松市福岡町2丁目2-1

【主催】

四国地方整備局 高松港湾・空港整備事務所

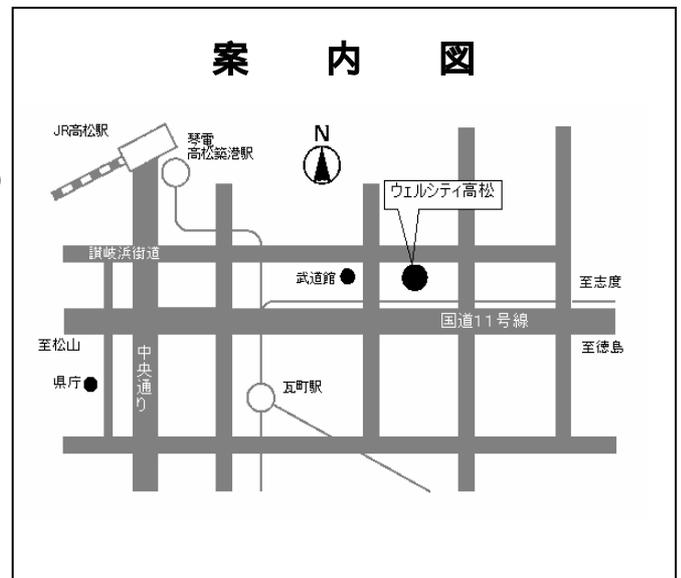
【主な出席予定者】

国土交通副大臣、香川県知事、行政関係者、
地元関係者

取材に来て頂く場合について

取材に来て頂く場合は、お手数ですが6月27日（金）の
17:00までに、右記連絡先までご連絡下さい。

なお、式典終了後、希望される方は、現地にご案内致します。



【交通】

- ・高松駅より琴電バス、朝日町線[厚生年金会館前]下車。
- ・高松駅より車で5分、高松空港より車で30分。

（問い合わせ先）

国土交通省 四国地方整備局
高松港湾・空港整備事務所

企画調整課 内田

TEL：087-851-5524

FAX：087-826-1210

高松港朝日地区国際ターミナル整備事業概要

高松港は、宇高連絡船が発着する四国の玄関口として発展してきました。連絡船廃止後もフェリーを中心に、引き続き旅客及び貨物取扱量は四国一と、本州と四国を結ぶ港として重要な役割を果たしています。最近ではコンテナ貨物が急増し、コンテナ取扱量は4年連続四国一になるなど、国際貿易港としても著しい発展を遂げています。

今回着工した国際ターミナルは、木材輸送船の大型化に対応するとともに、朝日地区を再編し、コンテナ取扱能力を拡大するために整備するものです。香川県内には四国で唯一、耐震強化岸壁が整備されていなかったことから、本ターミナルの岸壁(-12m)は耐震強化岸壁として整備し、震災発生時は緊急物資の輸送拠点としても活用することとしています。

また、施工にあたっては水質監視を行い周辺環境に配慮するとともに、施工時期についても海苔などの養殖に影響を与えないよう配慮します。



このプロジェクトの果たす役割

